

福祉サービス第三者評価 評価調査報告書
(保育分野)

運営主体：社会福祉法人 共に生きる会

川和保育園

2018年11月1日作成

実施評価機関：

一般社団法人 日本保育者未来通信



○実施概要

事業所名： 社会福祉法人 共に生きる会 川和保育園
報告作成日： 2018年9月21日 (評価に要した期間 4カ月間)
評価機関： 一般社団法人 日本保育者未来通信

【評価方法】

1. 事業者自己評価 【実施期間：2018年6月26日～2018年7月11日】

- ・事業所担当者が第三者評価の主旨を職員に説明後、関連する項目を職員から聞き取った。
- ・聞き取り結果をもとに、事業所担当者が最終確認及び、修正・追加事項を記入した。

2. 利用者家族アンケート 【実施期間：2018年7月2日～2018年7月13日】

- ・配布：全園児の保護者（135家族）に対して、園から配布。
- ・回収：保護者が評価機関所定の回収BOXに投函し回収。

3. 訪問実地調査 【実施日：2018年6月26日、2018年6月28日、2018年7月2日、2018年7月3日、 2018年7月4日、2018年7月5日、2018年7月9日、2018年7月31日】

■6月26日

- ・終日：各クラスの保育観察

■6月28日

- ・終日：各クラスの保育観察

■7月2日

- ・午後：保育観察及び職員ヒアリング（3歳児クラス）

■7月3日

- ・午後：保育観察及び職員ヒアリング（5歳児クラス）

■7月4日

- ・午後：保育観察及び職員ヒアリング（4歳児クラス）

■7月5日

- ・午後：保育観察及び職員ヒアリング～事業者面接調査（0・1歳児クラス）

■7月9日

- ・午後：保育観察及び職員ヒアリング～事業者面接調査（2歳児クラス）

■7月31日

- ・書類調査～事業者面接調査

4. 利用者本人調査【実施日：2018年6月26日、2018年6月28日、2018年7月2日、2018年7月3日、 2018年7月4日、2018年7月5日、2018年7月9日、2018年7月31日】

- ・全日、各クラスの保育観察を中心に、遊び、食事、排泄、午睡の状況、などを観察。
- ・乳児については主に観察調査、幼児については観察と遊びの時間などに適宜聞き取り調査を実施。

〇評価結果についての講評

(高く評価できる点、独自性のある点、今後期待される点、工夫改善点などについて総括)

【施設の概要】

社会福祉法人共に生きる会川和保育園は、市営地下鉄グリーンライン「川和町」駅から、徒歩10分、緑に囲まれ、周辺は住宅街が広がる中にあります。当園は、1942年(昭和17年)に創立し、1949年(昭和24年)に公認川和保育園となり創立以来キリスト教に根ざす保育にあたっています。2018年(平成30年)4月より、現在の場所に移転しております。なお、法人は、保育に特化し川和保育園のみの運営にあたっています。

当園の定員は、181名(0～5歳児)、開園時間は、平日7時～19時、土曜日7時～18時です。園バス通園があり、緑コース、黄色コースの2コースでの送迎を実施しております。

園の施設は、2階建ての園舎が園庭を囲むように設計されており、1階が園長室、職員室、調理室、医務室、保育室(0歳児室、1歳児室、2歳児室、3歳児室の4つ)、2階が絵本室、職員会議室、保育室(4歳児室、5歳児室の2つ)となっています。1階の保育室はすべて緑側に接しており、緑側から園庭に出られるようになっております。2階の保育室からもベランダから、直接園庭に出られるようになっております。

園の立地からも周囲は緑が多く、新園舎工事の際には、旧建物の土砂、石を再利用するなど自然の地形を活かした保育環境を整備しております。園庭内には、数年後を見越して木々が豊富に植えられているとともに、築山やじゃぶじゃぶ池など子どもが遊び込める環境を子どもの様子や季節に応じて整えています。また、裏山の畑ではインゲンやトウモロコシなど数多くの栽培をしているとともに、園庭内も含め、亀、ウサギ、ヤギやアヒルなどの飼育もしております。

園の主な行事として、進級・入園式【4月】、初めての園外【5月】、花の日礼拝【6月】、七夕・夕涼会、夏の三つ峠登山(年長)【7月】、お泊り会(年長)【8月】、園庭キャンプ(年中)【9月】、運動会、秋の三つ峠登山(年長)【10月】、バザー、収穫感謝礼拝【11月】、クリスマス礼拝【12月】、おもちゃつき【1月】、音楽会【2月】、お別れ園外【3月】があります。

「自分で考え、自分で遊べ、子どもたち！」の理念に基づき、柔らかい感受性を持った子どもたちが体験を通して自分自身が心を動かし学んだことが、人間形成の基礎となり子どもたちの一生を貫いていくものと考えています。多くの子どもたちが自然と遊離しているこの時代に、可能性豊かな子どもたちを自然の中に解き放ち、季節を感じ、人にも物にも優しさを向けられる心を育くむ保育を実践しています。

評価領域Ⅰ 子ども本人の尊重

評価分類・評価項目	自己 評価	評価 結果	評価の理由（コメント）・評価根拠
<p>評価分類Ⅰ－１ 保育方針の共通理解と全体的な計画等の作成</p> <p>(1) 保育の理念や基本方針が子ども本人を尊重したものになっており、全職員が理解し、実践しているか。</p> <p>(2) 全体的な計画は、保育の基本方針に基づき、子どもの最善の利益を第一義にして作成されているか。</p> <p>(3) 日常の保育を通して子どもの意見や意思を汲み取る努力をし、指導計画に反映させているか。</p>	A	<ul style="list-style-type: none"> ・「自分で考え、自分で遊べ、子どもたち！」を理念に、自然の中に身体を解き放ち、季節を感じ、自らの感性を研ぎ澄ましていく子どもたちの力を信じた、保育実践に取り組んでいます。 ・職員は、クラス会議、全体職員会議の中で理念に沿った保育の振り返りをしています。 ・運営方針、職員体制、利用料金、苦情相談窓口などが記載された重要事項説明書にて保護者に説明するとともに、入園前に入園説明会を3回、入園後も年間7回のクラス懇談会を実施し、十分に保育の理念や基本方針を周知しています。 ・クラス会議、全体職員会議などを通して全職員が関わって全体的な計画を作成しています。全体的な計画の内容については、おたより（年間スケジュールなど）や懇談会を通して、保護者に説明をしています。 ・指導計画は子どもたちの日々の遊び（生活）の状況に合わせて柔軟性をもたせています。例えば、制作なども決められた時間に一齐にするのではなく、子どもたちの制作したいタイミングで行えるように、それぞれの遊び（生活）の流れに合わせて声かけをして行っています。 	
<p>評価分類Ⅰ－２ 子どもの発達や状況に応じた適切な援助の実施</p> <p>(1) 入園前や入園後すぐに子どもの発達状況や課題を把握しているか。</p> <p>(2) 新入園児の受け入れ時の配慮を十分しているか。</p> <p>(3) 子どもの発達や状況に応じて指導計画を作成しているか。</p> <p>(4) 乳児保育（0歳児）において、適切な環境を整備し、生活や遊びが充実するよう配慮しているか。</p> <p>(5) 1歳以上3歳未満児の保育において、適切な環境を整備し、生活や遊びが充実</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・入園までに、個別面接と入園説明会（3回）を実施し、園の理念などを理解していただくとともに、各家庭や子どものことを十分に把握するよう努めています。 ・短縮保育（ならし保育）は各家庭の状況や子どもの状況に応じて対応しています。短縮保育（ならし保育）は基本的には2週間ですが、子どもの緊張度や集団への慣れ具合、また保護者の方の就労状況などに応じて柔軟に対応しています。 ・週1回の各クラス会議にて、職員同士で指導計画の作成、見直しを十分に行っています。その際に、個々の子どもの特性や現状を職員間で丁寧に振り返り、保育者のかかわりをはじめ、適切な環境の整備に取り組んでいます。 	

<p>するよう配慮しているか。</p> <p>(6) 3歳以上児の保育において、適切な環境を整備し、生活や遊びが充実するよう配慮しているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・0歳児においては、保育士と一対一のかかわりの中で応答的なかかわりをしています。例えば、食事の場面では、子どもの指差しに対して、「ご飯が良かったの」「お魚ね」などゆったりとかかわりながら、食事の介助をしています。また、子どもの生活リズムに合わせて、食事の時間、午睡の時間、遊ぶ時間などを分け、一人一人の個別のペースに合わせてかかわっています。 ・1歳児においては、クラスの部屋から出てすぐにある、小さな砂場で遊んだり、一人一人がプラスチックの大きなたらいの中で、個々のリズムに合わせて水遊びを楽しんでいます。 ・2歳児クラスになると、じゃぶじゃぶ池や、大きなプールで遊びます。その中で、保育者が子どもの状況を見ながら必要に応じて、仲立ちをしています。 ・3歳児クラスでは、じゃぶじゃぶ池で遊んだり、園庭の parasol の下にある木製テーブルで何人かの子どもたちがいろいろと創造しながら積み木遊びをするなど、子どもたち一人一人が興味関心のある活動を行っています。 ・4歳児クラスでは、裏山の畑で自分たちが育てているトウモロコシが、雨の影響で倒れているのを見て、園庭にある木の枝を支柱にしたり、支柱と茎を紐で結ぶなど、各個人が自分の力を発揮した活動を行っています。 ・5歳児クラスでは、じゃぶじゃぶ池で友だちと協力しながらカヌーを漕いだり、その周りでコーヒー屋さんごっこなどを楽しんでいます。
<p>評価分類 I - 3 快適な施設環境の確保</p> <p>(1) 子どもが快適に過ごせるような環境（清潔さ、採光、換気、照明等）への配慮がなされているか。</p> <p>(2) 沐浴設備、温水シャワーなど体を清潔にできる設備があるか。</p> <p>(3) 子どもの発達に応じた環境が確保されているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・管理栄養士が衛生面の指導を行い、午睡の時間や夕方の時間を使って、清掃などを行っています。主に掃除を担当する者がおり、全体的な掃除をするとともに、各クラス担任も清掃担当箇所が決まっています。 ・いずれの保育室も、陽光を十分に取り入れることができる構造となっています。 ・子どもたちが園庭と行き来する出入り口付近（各クラス）に温水シャワーの設備があります。 ・低年齢児は、食べる場所、寝る場所、遊ぶ場所を分けることで、子ども一人一人の生活リズムで過ごせるよう工夫しています。

		<ul style="list-style-type: none"> ・屋内には、異年齢でかかわりがもてるような、遊びのスペースが廊下の空間に何ヵ所も設けられています。そこには、すぐに手に取って遊べる玩具（コルク製の積み木、木製の電車、絵本など）があります。
<p>評価分類Ⅰ－４ 一人一人の子どもに個別に対応する努力</p> <p>(1) 子ども一人一人の状況に応じて保育目標を設定し、それに応じた個別指導計画を作成しているか。</p> <p>(2) 子ども一人一人の発達の過程に応じた対応をし、その記録があるか。</p>	A	<ul style="list-style-type: none"> ・主に、児童票を使いながら、個別指導計画を作成しています。また、特別に配慮が必要である場合には、個別支援ファイルを作成し計画を立てるとともに、見直しを行っています。 ・家庭状況調査票を入園時に提出してもらうとともに、毎年及び変更があった際は更新し、子どもたち一人一人の発達の過程を把握しています。 ・小学校入学に際して、個別に配慮が必要とされる児童などには、保育所児童保育要録とは別に、保護者が小学校に自身の子どもであることを伝える為のツールとして、子どもの様子などを書き記した手紙を保護者と面談の上作成しています。
<p>評価分類Ⅰ－５ 保育上、特に配慮を要する子どもへの取り組み</p> <p>(1) 特に配慮を要する子どもを受け入れ、保育する上で必要な情報が職員間で共有化されているか。</p> <p>(2) 障害児保育のための環境整備、保育内容の配慮を行っているか。</p> <p>(3) 虐待を疑われる子どもの早期発見と適切な対応を心がけているか。</p> <p>(4) アレルギー疾患のある子どもへの適切な対応ができているか。</p> <p>(5) 外国籍や帰国子女など、文化の異なる子どもに対して適切な配慮がされているか。</p>	A	<ul style="list-style-type: none"> ・個別のケースについては、クラス会議や全体職員会議で話し合わせ共有しています。 ・障害児保育のための環境整備として、玄関から段差なく園内に入ることができ、エレベーターを使用し、2階に上がることができます。 ・障害の特性を考慮した個別の指導計画については、児童票や個別支援ファイルなどで行っており、クラス会議にて共有し、具体的なかかわりについて十分に検討しています。 ・虐待を疑われる子どもの早期発見と適切な対応として、家庭の情報は、0歳～3歳までは日々の連絡ノートを使用し、また全学年では絵本ノートや送迎時の保護者との会話などで得ることが挙げられます。また得られた情報を職員間で共有し、状況によっては子どもの様子を見て、保護者へ声かけをしています。 ・父母会の活動が活発で、保護者間での結びつきが強く、何かあれば保護者同士で声をかけ合ったり、園に情報が入ってくることが、虐待の予防にもつながっていると考えます。 ・アレルギー疾患のある子どもへの対応としては、テーブルを変える、食器の色や模様を変える、プレー

		<p>トに名前のラベルをクリップでつけるなどの対応をとっています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中国、オランダ、韓国などの外国籍の方が在籍しています。保護者の方には、手紙などで分かりづらい部分があれば個別対応をして口頭で伝えています。
<p>評価分類 I - 6 苦情解決体制</p> <p>(1) 保護者が保育についての要望や苦情を訴えやすい仕組みになっているか。</p> <p>(2) 要望や苦情等を受けて、迅速に対応できる仕組みになっているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・苦情解決の流れをフロー図で表して園内に掲示し、苦情受付担当者、苦情解決責任者を保護者に知らせています。 ・クラス懇談会が年7回あり、そこでも保護者からの意見や要望、苦情などを聞いています。 ・苦情を受け付けた場合は、第三者委員に連絡し、必要に応じて第三者委員を交えて話し合う仕組みがあります。

評価領域Ⅱ 保育の実施内容

評価分類・評価項目	自己 評価	評価 結果	評価の理由（コメント）・評価根拠
<p>評価分類Ⅱ－1 保育内容</p> <p>〔遊び〕</p> <p>(1) 子どもが主体的に活動できる環境構成（おもちゃ・絵本、教材、落ち着いて遊べるスペースなど）ができているか。</p> <p>(2) 遊びが一斉活動に偏らないよう配慮しているか。</p> <p>(3) 動植物の飼育や栽培・園外活動など、自然に触れたり地域や社会に関わる体験が取り入れられているか。</p> <p>(4) 子どもが歌やリズム、絵や文字、体を動かすなどの体験を通して、自分の気持ちを自由に表現できるよう配慮されているか。</p> <p>(5) 遊びを通して子ども同士の関係や保育士との関係が育つよう配慮しているか。</p> <p>(6) 積極的な健康増進の工夫が遊びの中になされているか。</p>	A	<ul style="list-style-type: none"> ・室内は、絵本のコーナーやトイレットペーパーの芯などの廃材を使った制作のコーナー、ままごとコーナーなど子どもたちがそれぞれ遊べる環境を整えています。 ・園庭は、じゃぶじゃぶ池や大型プール、築山や木のお家、自転車、三輪車、キックスケーターやストライダー、また絵本を読む場所など、子どもたちが行った先で楽しいことがあるような環境になっており、十分に遊び込み、そして遊び込める時間が確保されています。 ・裏山の畑では、インゲン、ミニトマト、バジル、キュウリ、トウモロコシ、イチゴ、枝豆、オクラなどを育てています。 ・亀やウサギ、ヤギ、アヒルなど多くの動物を園庭や裏庭で飼育し、子どもたちはグループをつくって、当番活動として世話をしています。 ・食事の前に歌を唄うなど、日常生活の中で子どもが歌などの表現を楽しむ姿が見られます。 ・けんかなどに関しては、基本は危険がないように見守り、必要に応じて援助した方が良い場合、仲介役になった方が良い場合、止めた方が良い場合など状況に応じて対応しています。 ・屋外活動は、登園後から降園までの間で園庭にて、じゃぶじゃぶ池、大型プール、築山など十分に遊べる環境と時間が整えられています。 	
<p>評価分類Ⅱ－1 保育内容</p> <p>〔生活〕</p> <p>(7) 食事を豊かに楽しむ工夫をしているか。</p> <p>(8) 食事の場、食材、食器等に配慮しているか。</p> <p>(9) 子どもの喫食状況を把握して、献立の作成・調理の工夫に生かしているか。</p> <p>(10) 子どもの食生活について、家庭と連携しているか。</p> <p>(11) 午睡・休息は発達や日々の子どもの状況に応じて対応しているか。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・食事については、個々の状況を踏まえ、盛り付けの段階から量を減らすなどの調整をしています。 ・子どもたちは保育者と相談しながら、少し食べてみたり、量を減らしてみたりしています。まずは楽しく食べる、お皿をきれいにすることを大切にしています。 ・こどもの日の給食としてこいのぼりハンバーグ、柏餅、また食材をアジサイ、おひな様、もみじ、七夕などに見立てたちらし寿司など、見た目でも楽しめるメニューを提供しています。 ・栄養士や調理担当者は、子どもの食事の様子を見 	

<p>(12) 排泄は個人差があることを十分に配慮して対応しているか。</p> <p>(13) 長時間にわたる保育のための環境を整え、配慮した保育が行われているか。</p>	<p>A</p>	<p>て、保育士と相談しながら、調理方法や、献立を変えるなどの工夫をしています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたち一人一人のリズムに合わせて、時間差をつける工夫をするなど、柔軟な対応をしています。 ・0歳児クラスでは5分に1回、1歳児では10分に1回、チェック表を活用し、ブレスチェック及び態勢を確認しています。2・3歳児では一定時間の午睡時間を確保し、個々の体力、生活リズム、体調を考慮して、保護者との連携を取りながら午睡の時間を調整しています。同じく、4・5歳児でも、個々の体力、生活リズム、体調を考慮して、保護者との連携を取りながら午睡の有無や時間を調整しています。また、近年の異常気象に伴い、気候により体調を崩す恐れがあるようなときは、十分な体力を持つ4・5歳児の子どもたちに関しても、身体を横にして休息をする時間を設けています。 ・トイレトレーニングは、決まった時間にトイレに行くなどではなく、一人一人に応じて対応しています。 ・子どもの状態に応じ、ゆったりとくつろいで過ごすことができるよう、園内外の絵本コーナーの設置や、室内に、木製の3階建ての小さなログハウスがあり、そこでは友だちや保育士の視線を意識せずゆったりとくつろいで過ごすことができます。
<p>評価分類Ⅱ－2 健康管理・衛生管理・安全管理</p> <p>[健康管理]</p> <p>(1) 子どもの健康管理は、適切に実施されているか。</p> <p>(2) 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映させているか。</p> <p>(3) 感染症等への対応に関するマニュアルがあり、保護者にも徹底しているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・年間の保健計画に基づき、一人一人の健康状態を把握しています。 ・検査結果に基づき、必要に応じて嘱託医との連携を図っているほか、かかりつけ医については保護者を通して情報を共有しています。 ・感染症等への対応については、保育所における感染症対策ガイドラインを使用し実施しています。 ・園内で感染症等が発生したときは、手紙を配布するとともに、玄関に掲示をし、知らせています。
<p>評価分類Ⅱ－2 健康管理・衛生管理・安全管理</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・調理スタッフの衛生に関するチェックを基準としながら、午睡の時間や夕方の時間を使用して、

<p>[衛生管理]</p> <p>(4) 衛生管理が適切に行われているか。</p>	A	<p>清掃などの衛生管理を行っています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・隔週金曜日に実施される、職員全体会議には、管理栄養士、調理師なども参加し、必要に応じて見直しを行っています。
<p>評価分類Ⅱ－２ 健康管理・衛生管理・安全管理</p> <p>[安全管理]</p> <p>(5) 安全管理に関するマニュアルがあり、事故や災害に備えた安全対策が実施されているか。</p> <p>(6) 事故や怪我の発生時及び事後の対応体制が確立しているか。</p> <p>(7) 外部からの侵入に対する対応策が整備されているか。</p>	A	<ul style="list-style-type: none"> ・安全管理については、事故防止・事故対応マニュアルに基づき実施しています。 ・災害・地震発生時、急な発熱、けがなどの緊急時の状況別に、保護者や救急機関への連絡体制が確立しています。また、けがについては、必ず各クラスの専任職員へ伝達があり、状況に応じて専任職員は主任、副園長、園長に伝え、必要に応じて病院受診などの対応も検討します。 ・不審者対策については、園独自の不審者対応マニュアルに基づいて実施しています。 ・玄関の他に複数の防犯カメラが設置されています。出入口の門は金属チェーンで常時施錠されているとともに、時期に応じてダイヤル式の南京錠でも施錠がされています。
<p>評価分類Ⅱ－３ 人権の尊重</p> <p>(1) 保育中の子どもの呼び方や叱り方などで、子どもの人格尊重を意識しているか。</p> <p>(2) 必要に応じてプライバシーが守れる空間を確保できるような工夫がされているか。</p> <p>(3) 個人情報の取り扱いや守秘義務について、職員等に周知しているか。</p> <p>(4) 性差への先入観による役割分業意識を植え付けないよう配慮しているか。</p>	A	<ul style="list-style-type: none"> ・おだやかに分かりやすい言葉で話をしています。例えば、じゃぶじゃぶ池で遊んだ後の着替えにおいて、縁側で職員が一人一人の子どもに優しく声をかけ髪を結んだり、自分で着替えるのを促したりする姿などが観察されます。 ・室内では、木製の3階建ての小さなログハウスがあり、そこでは友だちや保育士の視線を意識せず過ごせる場所があります。 ・個人情報の取扱いについては、全職員（ボランティア・実習生を含む）と保護者に周知し、同意書を交わしています。
<p>評価分類Ⅱ－４ 保護者との交流・連携</p> <p>(1) 保護者が保育の基本方針を理解できるよう努力しているか。</p> <p>(2) 個々の保護者との日常的な情報交換に加え、個別面談等を行っているか。</p> <p>(3) 保護者の相談に応じているか。</p> <p>(4) 保育内容（行事を含む）など子どもの園生活に関する情報を提供しているか。</p> <p>(5) 保護者の保育参加を進めるための工夫</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・クラス懇談会は各クラス年に7回実施します。また、入園までに入園説明会が3回あり、保育の基本方針を理解できるよう説明する機会を設けています。 ・連絡帳などを通して、日ごろの様子を伝えるとともに、送迎時の会話の中でも、子どもの様子を伝えています。 ・個別面談は、保護者の意向を踏まえて柔軟に対応しています。 ・日常の保育の様子については、職員が写真撮影な

<p>をしているか。</p> <p>(6) 保護者の自主的な活動への援助や意見交換を行っているか。</p>	<p>A</p>	<p>どを行い知らせています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行事などの際は、父母の会の撮影班を中心にビデオや写真などを撮って、保育の様子を伝えていきます。 ・保護者懇談会の中で、年間スケジュールについて伝えていきます。また、掲示板に掲載するとともに、その都度おたよりを発行しています。必要に応じて、連絡網で電話連絡します。 ・父母の会の活動の際には、場所を提供しています。 ・父母の会からもおたよりを発行し、自主的な活動を支えています。
---	----------	--

評価領域Ⅲ 地域支援機能

評価分類・評価項目	自己 評価	評価 結果	評価の理由（コメント）・評価根拠
<p>評価項目Ⅲ－1 地域の子育て支援ニーズを把握するための取り組みを行っているか。 (1) 地域の子育て支援ニーズを把握するための取り組みを行っているか。 (2) 地域の子育て支援ニーズに応じて施設の専門性を生かしたサービスを提供しているか。</p>		B	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の保護者などに対する相談事業として、ハンディのある子どもをもつ保護者の方から、園に相談の連絡があり対応しています。 ・園庭開放を実施しています。 ・地域の保護者や子ども等に向けて子育てや保育に関する講習・研修会は実施していません。
<p>評価分類Ⅲ－2 保育所の専門性を生かした相談機能 (1) 地域の保護者や子ども等への情報提供や育児相談に応じているか。 (2) 相談内容に応じて関係諸機関・団体との連携ができる体制になっているか。</p>		B	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の保護者等に対する相談事業として、ハンディのある子どもをもつ保護者の方から、園に相談の連絡があり対応しています。 ・育児相談については、随時受け付けていますが、定期的な相談日を設けるには至っていません。 ・園全体での関係機関との対応については、担当者が決められています。 ・療育の巡回などでの助言や情報を得るなど、関係機関との日常的な連携が継続してなされています。

評価領域Ⅳ 開かれた運営

評価分類・評価項目	自己 評価	評価 結果	評価の理由（コメント）・評価根拠
<p>評価分類Ⅳ－1 保育所の地域開放・地域コミュニティへの働きかけ</p> <p>(1) 保育所に対する理解促進のための取り組みを行っているか。</p> <p>(2) 子どもと地域との交流により、子どもの生活の充実と地域の理解を深めているか。</p>		B	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育所の行事に地域の保護者や子ども等を招待することはしていません。 ・ 中学校のおしごと体験、小学校の町探検など学校教育と連携を行っています。 ・ 近隣の草刈り、ゴミ拾いなどの地域環境整備を行っています。 ・ 花の日礼拝では商店街や地域の方に花を届けるなどの交流を行っています。
<p>評価分類Ⅳ－2 保育所における福祉サービスに関する情報提供</p> <p>(1) 将来の利用者が関心のある事項についてわかりやすく情報を提供しているか。</p> <p>(2) 利用希望者の問い合わせや見学に対応しているか。</p>		A	<ul style="list-style-type: none"> ・ 情報提供については、市役所、ホームページを中心にしています。 ・ 随時、見学を受け付けているので実際に来園して頂くことを勧めています。保育環境や園で過ごす子どもたちの様子を見て頂くことが最大の情報提供になっています。 ・ 重要事項説明書（園のパンフレット）などに基づいて保育所の基本方針や利用条件・保育内容等について説明しています。
<p>評価分類Ⅳ－3 ボランティア・実習の受け入れ</p> <p>(1) ボランティアの受け入れや育成を積極的に行っているか。</p> <p>(2) 実習生の受け入れを適切に行っているか。</p>		C	<ul style="list-style-type: none"> ・ ボランティアの受け入れは実施していますが、受け入れのためのマニュアルなどの整備には至っていません。 ・ 実習生の受け入れは実施しておりますが、受け入れのためのマニュアルなどの整備には至っていません。

評価領域V 人材育成・援助技術の向上

評価分類・評価項目	自己 評価	評価 結果	評価の理由（コメント）・評価根拠
<p>評価分類V-1 職員の人材育成</p> <p>(1) 保育所の理念や方針に適合した人材を育成するための取り組みを行っているか。</p> <p>(2) 職員・非常勤職員の研修体制が確立しているか</p> <p>(3) 非常勤職員等にも日常の指導を行っているか</p>		A	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育所の保育の課題や職員のキャリアパスも見据えて、行政から発行される年間の研修カリキュラムに沿って計画を立て実施しています。 ・ 園長との面談の中で、個々の職員の資質向上に向けた目標などが話し合われていますが、達成度の評価までには至っていません。 ・ 内部研修として、隔週金曜日の全体職員会議や、各クラス会議にて保育内容について検討しています。 ・ 週1回のクラス会議は、非常勤職員も参加して行っています。 ・ 共通業務のマニュアルやガイドラインなどは、職員室に常備されており自由に見ることができます。
<p>評価分類V-2 職員の技術の向上</p> <p>(1) 職員のスキルの段階にあわせて計画的に技術の向上に取り組んでいるか。</p> <p>(2) 保育士等が保育や業務の計画及び記録を通してみずからの実践を振り返り、改善に努める仕組みがあるか。</p> <p>(3) 保育士等の自己評価を踏まえ、保育所としての自己評価を行っているか。</p>		A	<ul style="list-style-type: none"> ・ 隔週金曜日の職員全体会議等の中で、ビデオ撮影した保育場面などを使い、保育の質の向上を目指した会議・勉強会が開かれています。 ・ 外部講師として、美術の先生が来て、年長クラスは「玉ねぎ染めのTシャツづくり」や「針金にボンドでおはじきを付けた飾り」などを作っています。 ・ 職員一人一人が、計画で意図した保育のねらいと関連付けて日々の日誌にて振り返るとともに、クラス会議、職員会議にてクラスや、保育所全体の振り返りを行っています。 ・ 保育所としての自己評価の公表までには至っていませんので、第三者評価などの結果を通して公表していくことが望まれます。
<p>評価分類V-3 職員のモチベーションの維持</p> <p>(1) 総合的な人事管理が行われているか。</p> <p>(2) 本人の適性・経験・能力に応じた役割を与え、やりがいや満足度を高めているか。</p>		A	<ul style="list-style-type: none"> ・ 職員の意向・意見や評価・分析などにもとづき、人事管理が行われています。具体例としては、各クラスの担任は職員で話し合って決めているという点があげられます。毎年、全体職員会議で、各クラスの適材者を話し合い決定しています。 ・ 園長、副園長、主任保育士との、日常のやり取り

		<p>の中で、本人の満足度や、要望などを把握しています。</p> <ul style="list-style-type: none">・園長、副園長、主任保育士などと日頃の保育の中で改善や提案などの意見交換が行われています。
--	--	--

評価領域VI 経営管理

評価分類・評価項目	自己 評価	評価 結果	評価の理由（コメント）・評価根拠
<p>評価分類VI-1 経営における社会的責任</p> <p>(1) 保育所として守るべき、法・規範・倫理等を周知し実行しているか。</p> <p>(2) 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われているか。</p> <p>(3) 保育の質を維持しつつゴミ減量化・リサイクル・省エネルギーの促進、緑化の推進など環境に配慮しているか。</p>		A	<ul style="list-style-type: none"> ・法、規範・倫理等については、「職員就業規則」「パート職員就業規則」に明記されており、随時手にとることが可能です。 ・園のHPで「定款」「役員報酬規定」、WEB上のWAMnet / 社会福祉法人の財務諸表等電子開示システムにおいて、「現況報告書」「財務諸表」を公開しています。 ・法人監事が定期的に内部監査を行います。また、外部の専門家、税理士の助言を受けています。 ・園敷地内では落ち葉や竹チップを集め、腐葉土にしたりしています。今年度の新園舎工事の際には、旧建物の土砂、石、建築資材などを再利用しゴミを出さないシステム作りに努めました。 ・使用しないスペースの電灯はこまめに消す、エアコンは2時間のオフ設定にして不要な使用をしない心がけをしています。エアコンの使用は、各保育室が時間差でスタートするようにし、過度の電力消費を抑えています。
<p>評価分類VI-2 施設長のリーダーシップ・主任の役割等</p> <p>(1) 保育所の理念や基本方針等について職員に周知されているか。</p> <p>(2) 重要な意思決定にあたり、関係職員・保護者等から情報・意見を集めたり説明しているか。</p> <p>(3) 主任クラスの職員がスーパーバイザーとしての役割を果たしているか。</p>		A	<ul style="list-style-type: none"> ・「全体的な計画」に保育理念、保育方針が掲げられており、各学年の「月間指導計画」「打ち合わせファイル」の1ページ目にファイルされています。 ・各クラスの懇談会を、年7回行っています。また、父母の会委員会を年8回行い、情報・意見を集めたり説明しています。 ・現在の主任は、本園の理念のもとにこれまで保育を積み重ねてきた経歴があります。そのため、他の保育者と行事や日々の保育についての相談や確認をしながら、常に個々の状況を把握し、指導、また配慮をしています。
<p>評価分類VI-3 効率的な運営</p> <p>(1) 外部環境の変化等に対応し、理念や基本方針を実現するための取り組みを行っているか。</p> <p>(2) 保育所運営に関して、中長期的な計画や</p>			<ul style="list-style-type: none"> ・行政からの通達や園長会、また他園との直接の行き来などにより、情報の収集が行われ、その都度、理事会や全体職員会議などで共有、議論しています。 ・中長期計画を作成しており、今春には新園舎移

<p>目標を策定しているか。</p>	<p>A</p>	<p>転という大きな節目がありました。税理士やコンサルタントなどの外部機関からの意見も取り入れ、理事会においては、常に新たな情報や仕組みについて検討し、今後の運営に活かされています。</p> <ul style="list-style-type: none">・次代の経営幹部候補については、現在 OJT などで計画的に育成を行っています。
--------------------	----------	--

○利用者家族アンケートの分析

【実施概要】

■実施期間：2018年7月2日～2018年7月13日

■実施方法

- ・配布：全園児の保護者（135家族）に対して、園から配布。
- ・回収：保護者が評価機関所定の回収BOXに投函し回収。

■回収率

- ・配布：135家族、回収：112件、回収率82,9%

【結果の特徴】

【利用者家族アンケート集計結果】のその他のコメントについては、事業者との最終報告の際、事業者の方の「利用者家族の意見を尊重したい」という思いのもと、評価機関で最終判断した意見を記載しております。本園は、「評価結果についての講評」で記載の通り、非常に特色のある園です。評価調査員も計8回の訪問実地調査から、「自分で考え、自分で遊べ、子どもたち！」の理念に基づき、柔らかい感受性を持った子どもたちが体験を通して自分自身が心を動かし学んだことが、人間形成の基礎となり子どもたちの一生を貫いていくものと考えています。多くの子どもたちが自然と遊離しているこの時代に、可能性豊かな子どもたちを自然の中に解き放ち、季節を感じ、人にも物にも優しさを向けられる心を育くむ保育を、真摯に実践していることが明らかになっております。子どもたちの保育をするというのではなく、子どものことを共に考え、共に生きていくという姿勢で取り組んでおります。随時、見学は受け付けているので実際に来園するとともに、入園前に入園説明会を3回実施しておりますが、事前の園の理解だけでなく、共に生活していく中で、園の真意の理解が深まっていくことが特徴としてあげられます。

●問8「保育園の総合満足度」は、「満足」と「どちらかといえば満足」を合わせ、94.5%でした。施設への要望などの自由記述欄には、要望や不満に感じることも記載されていますが、「素晴らしい保育環境」「子ども達が楽しんで様々な経験ができることに感謝」「先生方の努力に感謝している」という意見が多数あります。

●問1「園の保育目標や保育方針」について、無回答を除き、全員の97.3%が「よく知っている」「まあ知っている」と回答しました。また、そのうちの95.3%が「賛同できる」「まあ賛同できる」とし、「あまり賛同できない」「賛同できない」は0.0%でした。

●問2「入園する時の状況について」は、「費用やきまりに関する説明について」の項目で21.9%が「どちらかといえば不満」「不満」「その他」と回答し、「寄付金や諸費用についての説明」「育休中の保育日数」等について詳しい説明が欲しかったとのコメントがありました。他の項目に比べ「満足・どちらかといえば満足」以外の回答が多い項目です。

●問3「年間の計画について」は、「保護者の要望が生かされているかについて」の項目で、「満足」「どちらかといえば満足」が79.0%、「どちらかといえば不満」「不満」が17.2%でした。他の項目に比べ「満足・どちらかといえば満足」以外の回答が多い項目です。

●問4「日常の保育内容について」の「遊びについて」の6項目全てにおいて「どちらかといえば不満」「不満」は0.0%です。また、6項目全てで「満足」が85%以上、うち3項目は「満足」が95%以上となっています。

「生活について」は給食についての2項目では「満足」「どちらかといえば満足」が100.0%でした。

●問5「保育園の快適さや安全対策などについて」は、「外部からの不審者侵入を防ぐ対策について」の項目で、「どちらかといえば不満」「不満」「その他」が20.8%でした。現在の入口にあるチェーンとかんぬきの状況では、安全対策に不安を感じるというコメントが複数ありました。

●問6「園と保護者との連携・交流について」は、どの項目も「満足」「どちらかといえば満足」が80.0%～97.2%あります。「保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会について」は「満足」「どちらかといえば満足」が85.4%ですが、「回数が多い」「時間が長い」というコメントが複数ありました。

●問7「職員の対応について」は、「あなたのお子さんが保育園生活を楽しんでいるかについて」は、「どちらかといえば不満」「不満」は0.0%でした。「話しやすい雰囲気、態度であるかどうかについて」は、「どちらかといえば不満」「不満」「その他」が14.5%でした。「先生方が忙しそうで相談できないことが多い」等のコメントがありました。

【利用者家族アンケート集計結果】

アンケート回収数：112件 （うち全回答未記入 2件）

アンケート集計数：110件

	0歳児 クラス	1歳児 クラス	2歳児 クラス	3歳児 クラス	4歳児 クラス	5歳児 クラス	無回答
クラス別回収数	2	13	20	21	27	26	1

(%)

問1	よく知って いる	まあ知って いる	どちらとも いえない	あまり知ら ない	まったく知 らない	無回答
あなたは、この園の保育 目標・保育方針をご存知 ですか	58.2	39.1	0.0	0.0	0.0	2.7

(%)

付問1	賛同できる	まあ賛同で きる	どちらとも いえない	あまり賛同 できない	賛同できな い	無回答
あなたは、その保育目標 や保育方針は賛同でき るものだと思いますか。	73.1	22.2	4.6	0.0	0.0	0.0

問2：お子さんが入園する時の状況について

(%)

	満足	どちらか といえば 満足	どちらか といえば 不満	不満	その他	無回答
見学の受け入れについては	57.3	29.1	9.1	1.8	1.8	0.9
	その他：「見学の申込みをしていない（1件）」「先生がわからず、特に案内はありませんでした（1件）」「断られた（1件）」「丁寧な説明があったわけではないが自由に見学でき、子ども達の素の姿が見られた（1件）」「自由過ぎてわかりづらかった（1件）」「先生方は保育に集中されているので不明点を聞きにくい（1件）」					
入園前の見学や説明など、園からの情報提供については	56.4	34.5	6.4	0.9	1.8	0.0
	その他：「寄付金、年中長でかかるお金の話は入園の説明で、なかった（1件）」「中途だったので最低限（1件）」「お休み協力など入ってから知ることが多かった（1件）」					
園の目標や方針についての説明には	66.4	30.0	1.8	0.0	1.8	0.0
	その他：「移転してから園の意向がまだつかめない」（1件）「説明会で寄付を求められる（1件）」					
入園時の面接などで、お子さんの様子や生育歴などを聞く対応については	78.2	17.3	4.5	0.0	0.0	0.0
	その他					
保育園での1日の過ごし方についての説明には	63.6	30.9	4.5	0.9	0.0	0.0
	その他					
費用やきまりに関する説明に	36.4	41.8	10.9	5.5	5.5	0.0

ついては（入園後に食い違いがなかったかを含めて）	その他：「寄付金については金額を決めてもらったほうがわかりやすい（2件）」「保育料以外の諸費用について説明会で詳しく聞いたかった（4件）」「育休中はお休みの協力が多くを後から知った（1件）」
--------------------------	---

問3：保育や行事の年間計画について

(%)

	満足	どちらか といえば 満足	どちらか といえば 不満	不満	その他	無回答
年間の保育や行事についての説明には	55.5	32.7	9.1	1.8	0.9	0.0
	その他：「夏にお休み協力があることなどは、知らされておらず驚いた（1件）」「運動会（乳児クラス参加時間）が長い」「新入園時、わかりづらかった（1件）」					
年間の保育や行事に、保護者の要望が生かされているかについては	34.5	44.5	14.5	2.7	3.6	0.0
	その他：「新入園なのでわからない（1件）」「わからない（3件）」「満足しているが、負担が大きく冬のスキーがなくなったことはさみしいものがある（1件）」					

問4：日常の保育内容について

(%)

「遊び」について	満足	どちらか といえば 満足	どちらか といえば 不満	不満	その他	無回答
クラスの活動や遊びについては（お子さんが満足しているかなど）	90.0	9.1	0.0	0.0	0.9	0.0
	その他：「移転後、環境変化等、戸惑いあり（1件）」					
子どもが戸外遊びを十分にしているかについては	96.4	2.7	0.0	0.0	0.9	0.0
	その他：「移転後、環境変化等、戸惑いあり（1件）」					
園のおもちゃ教材については（お子さんが自由に使えるように置いてあるか、年齢にふさわしいかなど）	95.5	4.5	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他：					
自然に触れたり地域に関わるなどの、園外活動については	97.3	2.7	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他：					
遊びを通じて友達や保育者との関わりが十分もっているかについては	85.5	14.5	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他：「先生方は子ども達と遊ばず見守ってくれている。とても難しい（1件）」					
遊びを通じたお子さんの健康づくりへの取り組みについては	87.3	11.8	0.0	0.0	0.9	0.0
	その他：「日焼けがひどい。目が充血し肌が黒くやきすぎていて心配（1件）」					

(%)

「生活」について	満足	どちらか といえば 満足	どちらか といえば 不満	不満	その他	無回答
給食の献立内容については	95.5	4.5	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他：「もっと牛乳を出してほしい（1件）」					
お子さんが給食を楽しんでいるかについては	87.3	12.7	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他：					
基本的な生活習慣（衣服の着脱、手洗いなど）の自立に向けての取り組みについては	87.3	10.9	1.8	0.0	0.0	0.0
	その他：					
昼寝や休憩がお子さんの状況に応じて対応されているかなどについては	81.8	14.5	1.8	0.0	1.8	0.0
	その他：「園バス利用のこどもは、おやつがない（1件）」					
おむつはずしは、家庭と協力し、お子さんの成長に合わせて柔軟に進めているかについては	69.1	15.5	1.8	0.9	11.8	0.9
	その他：「おむつがとれてからの入園（9件）」「まだわからない（2件）」 「布おむつを使い順調だったが、ある日突然、布から紙に変わった（1件）」					
お子さんの体調への気配りについては	76.4	19.1	3.6	0.9	0.0	0.0
	その他：					
保育中にあったケガに関する保護者への説明やその後の対応には	60.0	25.5	7.3	2.7	3.6	0.9
	その他：「まだケガ等がない（4件）」「一度報告が遅れ後々の通院が大変だったことがある（1件）」「懇談会でも園長から話がある（1件）」					

問5：保育園の快適さや安全対策などについて

(%)

	満足	どちらか といえば 満足	どちらか といえば 不満	不満	その他	無回答
施設設備については	74.5	22.7	2.7	0.0	0.0	0.0
	その他：					
お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気になっているかについては	72.7	25.5	0.9	0.0	0.9	0.0
	その他：「以前あった遊具がなくなり、居場所がない様子もあり（1件）」					
外部からの不審者侵入を防ぐ対策については	32.7	46.4	11.8	4.5	4.5	0.0
	その他：「大人ならば誰でも出入りでき、園側も把握できない体制で危険、対策が必要では（4件）」「バリケードで覆うことは希望していないが、どうやって防ぐのか難しい（1件）」					
感染症の発生状況や注意事項などの情報提供については	75.5	21.8	2.7	0.0	0.0	0.0

問6：園と保護者との連携・交流について

(%)

	満足	どちらか といえば 満足	どちらか といえば 不満	不満	その他	無回答
保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会については	52.7	32.7	5.5	3.6	5.5	0.0
	その他：「回数が多く時間も長い (3件)」「回数が多い (2件)」「長すぎる (2件)」「土日はもっと子どもと過ごしたい (1件)」「懇談会のテーブルおこしは負担と実益を考えると不要 (1件)」「個人面談は限られた方のみ (1件)」「個人的な状態の情報はこちらから求めない (1件)」					
園だよりや掲示などによる、園の様子や行事に関する情報提供については	65.5	29.1	3.6	0.0	1.8	0.0
	その他：「多い (3件)」「おたよりが多すぎる。WEB化してほしい (1件)」					
園の行事の開催日や時間帯への配慮については	51.8	33.6	8.2	4.5	1.8	0.0
	その他：「週末の保護者参加行事が多すぎる、時間も長い (3件)」「6月は家族の時間が持てなかった (1件)」					
送り迎えの際、お子さんの様子に関する情報交換については	46.4	38.2	10.9	2.7	1.8	0.0
	その他：「ケガ等があった場合はあるが、特になし (1件)」「園バス利用のためなし (1件)」					
お子さんに関する重要な情報の連絡体制については	64.5	31.8	1.8	0.0	0.9	0.9
	その他：「不審者の情報は知りたい (1件)」					
保護者からの相談事への対応には	64.5	32.7	0.9	0.9	0.9	0.0
	その他：「先生方が忙しいため声がかけにくい。機嫌が悪いのかなと様子をうかがう時がある (1件)」					
開所時間内であれば柔軟に対応してくれるなど、残業などで迎えが遅くなる場合の対応には	49.1	30.9	9.1	5.5	4.5	0.9
	その他：「休み協力依頼がやや多い (1件)」「出来るだけ早いお迎えを！と散々言われているので残業はしづらい (1件)」「わかりません (1件)」「残業はない (1件)」					

問7：職員の対応について

(%)

	満足	どちらか といえば 満足	どちらか といえば 不満	不満	その他	無回答
あなたのお子さんが大切にされているかについては	80.0	18.2	0.9	0.0	0.9	0.0
	その他：					
あなたのお子さんが保育園生活を楽んでいるかについては	89.1	10.0	0.0	0.0	0.9	0.0
	その他：「進級、移転後は、波あり (1件)」					
アレルギーのあるお子さんや障害のあるお子さんへの配慮については	77.3	16.4	1.8	0.0	3.6	0.9
	その他：「該当しないのでわからない (3件)」					
話しやすい雰囲気、態度であるかどうかについては	58.2	27.3	10.0	1.8	2.7	0.0
	その他：「先生方が忙しそうで相談出来ないことが多い (1件)」「先生にもよるが年長の先生ほどもっと気軽に声かけできると助かる。若い先生はにこやか (1件)」「挨拶する人が増えた (1件)」「一部の先生を怖がっていたこともある (1件)」「先生によっては高圧的と感じるときもある」					

	(1件)」「無愛想だけど真剣なのだと思っている (1件)」					
意見や要望への対応については	44.5	44.5	3.6	2.7	3.6	0.9
	その他：「対応する気を感じない。(1件)」「わかりません」「ちょっと凝り固まっているところがあるかもしれない」「園が決めたことに従うので要望と言われると、、、？ (1件)」「朝まで布おむつだったのに夕方、紙おむつに変わっていて、説明は後日だった (1件)」					

問8：保育園を総合的に評価すると、どの程度満足していますか。

(%)

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	無回答
総合満足度は	70.0	24.5	4.5	0.0	0.9

○利用者本人調査

【実施概要】

【実施日：2018年6月26日、2018年6月28日、2018年7月2日、2018年7月3日、2018年7月4日、2018年7月5日、2018年7月9日、2018年7月31日】

- ・全日、各クラスの保育観察を中心に、遊び、食事、排泄、午睡の状況、などを観察。
- ・乳児については主に観察調査、幼児については観察と遊びの時間などに適宜聞き取り調査を実施。

□0 歳児クラス

個々の生活リズムに合わせ、職員が一人一人の子どもたちと応答的にかかわっています。保育室は、ままごとコーナーや畳のスペース、小さな木の家などがあり子どもたちが自分のペースで遊べる環境が整っています。絵本の読み聞かせにおいては、子どもの喃語に対して、「ウサギね、イヌね」など職員がゆったりとかかわっている姿が見られます。

保育室から縁側に出て、職員と一緒に日光浴を楽しんだり、園庭で遊ぶ年上の子の様子を楽しそうに眺めている姿が見られます。園庭では、縁側付近で個々に用意されたプラスチック製のたらいの中で水遊びを楽しむ姿も見られます。

食事の場面では、職員と一対一のかかわりの中で応答的なかかわりをしています。例えば、子どもの指差しに対して、「ご飯が良かったの」「お魚ね」などゆったりとかかわりながら、食事の介助をしています。その際に、職員は、「もぐもぐどぞ」などの声をかけながら、咀嚼の様子を把握し、一口一口ゆったりと介助スプーンで食物を口に運んでいます。さらに、手づかみで食べたい子には、その気持ちを尊重しながら段階を踏んだかかわりを実践しています。

さらに、子どもの生活リズムに合わせて、食事の時間、午睡の時間、遊ぶ時間などを分けています。寝ている子には「そろそろご飯を食べましょう」などと優しく声をかけ、一人一人の個別のペースに合わせてかかわっています。また、廊下にはコルク性の積み木や絵本などがあり、午睡から早く目覚めた子が保育者とゆったりとかかわっている姿が見られます。

□1 歳児クラス

縁側に出て気持ち良い日の光を浴びながら、職員と一対一で七夕制作をする姿が見られます。職員は、まだ片言の子どもに対しても、「この色がいいかな？」など会話を楽しみながらゆったりとかかわっています。子どもたちは、水が張られたプラスチックの平たい容器の中に、絵の具が足らされる様子を興味津々に見たり、そこに紙を垂らして色が付く様子を楽しんでいます。

園庭では、保育室からすぐ近くにある小さな砂場で、シャベルやじょうろを使って泥遊びを思い切り楽しんだり、個々に用意されたプラスチック製のたらいの中で水遊びを楽しむなど、子どもたちが自分の好きな遊びを十分に楽しんでいます。

職員間で、その日の個々の子どもたちの様子について声をかけ合い、個々の生活リズムに合わせて、食後に眠くなる子が先に着替えをするなどの対応をしています。着替えの際も、遊び終えた子どもたちに「楽しかったね。シャワーを浴びてさっぱりしようか」などの会話を楽しんでいます。

食事の場面では、子どもたちが落ち着いて食事ができるように、座る席などの環境を整えています。食事を終えた子から、布団の上で絵本を読んだり、まだ眠くない子は廊下で小さなすべり台などで体を少し動かすなど、個々の生活リズムに合わせて空間や時間を整え、対応しています。

□2 歳児クラス

園庭では、砂山で3～4人子どもたちが、茶わんやスプーンなどを使って砂遊びを楽しんだり、腰まで砂に埋もれながら遊びに没頭する子ども、また、パラソルの下の木製のテーブルで、2～3人の子どもたちと会話を楽しみながら積み木で遊ぶ姿、ごっこ遊びの場面では、子どもたち同士で「ご飯だから座っててね」や「まだあるからね」などのやり取りをしながら遊ぶ姿など、子どもたち一人一人が自分の興味に応じて、好きな遊びを十分に楽しんでいる姿が見られます。

じゃぶじゃぶ池では、じょうろや車のおもちゃ、バケツで水を汲むなど思い思いの遊びを楽しんでいる姿が見られます。遊んだ後は、職員が一人一人の子どもたちに、「気持ち良かったね」などの会話を楽しみながら、シャワーで泥を流しています。その後の着替えでは、「こっちから足を入れるんだよ」や「困ったら言っ
てね」などの声をかけながら、子どもたち一人一人の様子に応じた援助をしています。着替えを終えた子は、縁側でゆったりと絵本を楽しんでいます。

食事の場面では、食事を終えた子から順に布団に寝そべり、保育者と午睡前の絵本を楽しむ姿が見られます。

午後も園庭に設置されている大型のプールでゆったりとフラフープやボールを使って遊んでいます。

□3 歳児クラス

キックスケーターや、ストライダーを使って、園庭を駆け回ったり、じゃぶじゃぶ池で3～4人の子どもたちで水を汲むのを楽しんだり、園庭にある絵本のスペースでじっくりと絵本を読む姿など、子どもたち一人一人が思い思いに過ごしている姿が見られます。

園庭にある木の家で6～7人の子どもたちが集まって、ごっこ遊びをする姿などが見られます。木の家の屋根の上から、下にワニが居る想定で会話を膨らませながら楽しんでいたりと、下に小さい子がいると「赤ちゃんがいるよ」などと話す姿も見られます。途中からごっこ遊びに入る子は「仲間に入れて」など言いながら仲間に入っている様子も見られます。

パラソルの下の木製のテーブルで、積み木で遊んでいる2人の子どもに評価調査員が近づくと、子どもたちから「何作っているんでしょうか？」と調査員に声をかけ、「正解は、スイカ」と答えていました。その後その積み木を離して、「スイカ割り！」と楽しそうに伝える姿が見られました。

裏山では、インゲン、ミニトマトなどを育てています。何人かのグループをつくって職員と一緒に生長を確かめに行き、その日に収穫して食べることもあります。

食事の場面では、保育者も子どもたちと会話を楽しみながら一緒に食事をしています。

□4 歳児クラス

裏山で育てているトウモロコシが天候の影響で倒れてしまっているのを子どもたちと見に行き、その中で子どもたちの発想を大切にしたかわりが見られます。例えば、職員が「トウモロコシが倒れてしまっているけどどうすればいいかな？」と子どもたちに問いかけ、その中で裏山にある棒を探して支柱代わりにするなどの保育の展開が見られます。その際も、子どもたち一人一人の興味に応じて、一斉に保育を展開するのではなく、個々の子どもたちと「この棒はどうか？」「少し太いかな」などの対話をしながら進めています。

じゃぶじゃぶ池の周りに木の椅子を並べ、全員の子どもたちがじゃぶじゃぶ池での遊び方を保育者から聞く姿が見られます。その際、保育者は、「ここは何て名前？」など質問しながら遊び方を伝えます。また、スコップや鍋を持ってきて、「こんなのが池に入っていたらどうなるか？」など子どもの自由な発想を受け止めながら話を進めています。さらに、カヌーの使い方や全員で乗ったら沈んでしまうこと、帰る前には必ずタオルで体を拭くなどのルールも伝えています。

短冊制作では、まだ制作を終えていない子を職員間で共有し、子どもたちの遊びの様子を見て2～3人ずつに声をかけています。その際、子どもたち自身が願い事に気持ちを向けられるのか、まだ遊びたいのかなどの要望を聞きながら進めています。

□5 歳児クラス

園庭にある大型プールでは、シュノーケルやゴーグルをつけて、全身を使って遊ぶ姿が見られます。また、フラフープやバナナポート、ビーチ板などを使って遊ぶ姿も見られます。職員は必ず監視台から子どもたち一人一人の様子を見守り、必要に応じて声をかけています。プールの中では何人かの子どもたちが声をかけ合って、流れるプールを作る姿も見られます。じゃぶじゃぶ池では、子どもたちがカヌーに乗って遊ぶ姿が見られます。周りでは、コーヒー屋さんごっこなどの遊びも見られます。築山では、5～6人の子どもたちが、土を掘って水路を作り、そこへじゃぶじゃぶ池の水を流すなどの遊びを楽しむ姿が見られます。職員は子どもたちの遊びの様子を見ながら「そろそろ片付けにしてご飯にしようか」などの声をかけるなど、子どもの遊びを尊重しています。

食事の場面では、食べる分量を職員と相談しながら調整するなど、個々の子どもに応じて無理なく食事を楽しむことに配慮しています。食後は、夏の暑い時期などは必要に応じて午睡をする子どももいますが、園庭で遊びます。職員は子どもの状況に応じて静かなプールや、大はしゃぎのプールなどを設定しています。

おやつ時間では、子どもたちが園庭にあるベルを鳴らし、「エルマーとりゅうクラスはおやつです」と伝え、子どもたちは手を洗い、思い思いに園庭の好きな場所で食べる姿が見られます。

○事業者コメント

記録を残し振り返りをすることで、自己評価をしてきましたが、第三者に見せるための自己評価をしてきませんでした。但し、第三者に見せる前提がなかった為、大量かつ臨場感のある記録が残されて、振り返る時間も割くことができたと思われます。

地域支援、開かれた運営については、利用する子どもの安全を担保した上での実施を考慮するとクリアすべき問題があり今後の課題と思われます。記録によるマニュアル化は実施していますが、マニュアル書的なまとめた文章が無く評価に繋がらなかった点がありました。

当園の特色は、利用者家族や職員に多くの賛同を得てます。その反面、問題点もこの特色に由来するケースが多いことが、第三者評価を受けたことにより明確になりました。今後の課題としては、この特色の内容を今まで以上に伝えることが重要であり、この第三者評価の公表がその役目の一部として機能することと思われます。

事業者自己評価を実施したこと、具体的なメリットがまだ表れていないので今後が楽しみです。